

2013年11月7日

## 「CDP気候変動2013」気候変動情報開示先進企業に 日本企業トップのスコアで選定

住友林業株式会社（社長：市川 晃 所在地：東京都千代田区）は、気候変動情報の開示活動について、CDP<sup>※1</sup>から高い評価を受け、気候変動情報開示先進企業に初めて選定されましたのでお知らせいたします。

CDPはFTSEジャパンインデックス<sup>※2</sup>該当企業を基本とした日本の大手企業500社（以下、ジャパン500）を対象に気候変動に関する情報開示を求める調査を毎年実施し、企業からの回答内容に基づく評価を公表しています。

今年度の調査において、住友林業は、温室効果ガス排出量の算定と目標管理、気候変動戦略、そしてリスクマネジメントについての情報開示が優れた企業として、『クライメート・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス（以下、CDLI）』に最高スコアの99点で選定されました。CDLIは100点満点でディスクロージャースコアを算出しており、今年はスコアが95点以上の24社が選定されました。

11月6日、国連大学ウ・タント国際会議場（東京都渋谷区）にて「CDP2013日本報告会」が行われ、出席した取締役常務執行役員（環境経営推進担当）の佐藤建はCDLI選定企業代表として登壇し、「当社の事業は、ほぼ全ての事業が木という素材を通じて自然環境と密接に関わりを持っており、現在は非住宅建築物の木造化・木質化を推進する木化事業や、バイオマス発電事業など木の新たな可能性を追求する事業にも力を入れています。これらの事業は、エネルギー問題の改善やCO2排出量削減に繋がり、気候変動に対する対策に結びついていくものと考えております。今回の表彰を契機として、気候変動問題を含めた地球環境問題に対する取り組みを、より加速させ、充実したものにしていきたいと思っております。」と述べました。

これからも「住友林業グループは、再生可能で人と地球に優しい自然素材である「木」を活かし、「住生活」に関するあらゆるサービスを通じて、豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと事業を通じて環境の維持、改善に取り組んでまいります。

### ※1 CDPについて

CDPは、企業や都市の重要な環境情報を測定、開示、管理し、共有するための唯一のグローバルなシステムを提供する国際的な非営利団体です。CDPは、企業が環境や天然資源に及ぼす影響を開示するように、またその影響を軽減する対策を取るように、合計87兆米ドルの資産を持つ722の機関投資家を含む市場経済とともに働きかけています。CDPは現在、気候変動、水、森林に関するリスク商品情報のグローバル最大の一次データを有しており、これらの知見をビジネス、投資、政策の戦略的な意思決定の場に提供しています。

Webサイト：<http://www.cdproject.net>



### ※2 FTSEジャパンインデックスについて

ロンドン証券取引所が100%出資するインデックス構築企業FTSE社が提供する、世界的に信頼性の高い外国株式インデックスの日本版です。

以上

<お問い合わせ先>  
住友林業株式会社  
コーポレート・コミュニケーション室 飯塚  
TEL : 03-3214-2270